

一般社団法人
ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会®

わかりやすさの評価システム「DC9 ヒューリスティック評価法」が 特許を取得しました

一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会（UCDA／理事長：福田 泰弘）が開発した、評価システム「DC9 ヒューリスティック評価法」が特許を取得しました。

「DC9 ヒューリスティック評価法」は、ユーザビリティに精通した複数のUCDA 認定評価員が、経験則（ヒューリスティック）に基づき、印刷物および情報端末画面のデザインを評価、UCDA が定めた「わかりやすさの9 原則」に分類して問題点を指摘、点数化して定量化するシステムです。

「DC9 ヒューリスティック評価法」では、評価員による個別評価、評価員のディスカッションによる統合評価、という2段階のフィルターを通すことで、1人の評価者では得られない幅広い問題点を発見できます。この問題点を発見して定量化するという評価方法は、UCDA 全てのサービス&ソリューションの根幹にあるもので、評価点はISO9241-11（ユーザビリティの定義）に準拠しています。

UCDAでは、2009 年7 月に特許を申請、このたび取得にいたしました。今後は評価サービスをウェブ化し、クラウドで提供する予定です。

「わかりやすさの9 原則」

以下の9つの観点からわかりやすさを点数化して定量的に評価します。

1. 情報量
2. タスク
3. テキスト（文意）
4. レイアウト
5. タイポグラフィ（文字）
6. 色彩設計
7. マーク・図表
8. 記入欄
9. 使用上の問題

本件に関するお問い合わせ先：

一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会®（UCDA）広報 上原
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-6 竹田ビル
TEL：03-3543-8355 FAX：03-3549-6152
E-mail：info@ucda.jp URL：<http://www.ucda.jp>